



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

気軽に立ち寄って、居心地よく、学べる図書館

3月26日に開館した新しい小矢部市民図書館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時休館していましたが、利用が再開されてから、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、多くの方々に利用されています。



(写真：小矢部市民図書館)



| | |
|--|---|
| 5月臨時会・5月第2回臨時会 補正予算の概要、審議議案・賛否状況、 審議経過 | 2 |
| 6月定例会 補正予算の概要、永年勤続議員表彰、 人事案件 | 3 |
| 審議議案・賛否状況、審議経過 | 4 |
| 7月臨時会 補正予算の概要、審議議案・賛否状況、 審議経過 | 5 |

| | |
|------------------|-------|
| 議長交際費 | 5 |
| 6月定例会 代表・一般質問 | 6～12 |
| 委員会報告 | 12～13 |
| 閉会中委員会開催状況 | 13 |
| 録画映像配信のお知らせ | 13 |
| 会務報告 | 14 |
| 次回議会日程 | 14 |
| 編集後記 | 14 |

5月臨時会・5月第2回臨時会

新型コロナウイルス感染症に対応するため、5月1日に5月臨時会、5月15日に5月第2回臨時会を開催しました。

5月臨時会では、令和2年度小矢部市一般会計及び小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算や条例の一部改正についてなど議案6件が提出され、それぞれ原案のとおり可決しました。

5月第2回臨時会では、令和2年度小矢部市一般会計補正予算についての議案が提出され、原案のとおり可決しました。

◎ 5月臨時会補正予算の概要

議案第33号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)
 補正額 30億9,040.4万円 累計予算額 168億2,540.4万円

- 《主な事業》
- 特別定額給付金給付事業費(国庫補助金を活用) 30億 170 万円
 - 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費(国庫補助金を活用) 3,987.2万円
 - 商工業振興対策費
 - 感染症拡大防止協力金事業負担金(国庫補助金を活用) 2,826.7万円
 - プレミアム付飲食券発行事業補助金 800 万円
 - 中小企業金融対策費 500 万円
 - 感染症対応資金に係る保証料助成及び利子補給

議案第34号 令和2年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 44 万円 累計予算額 29億3,214 万円

- 《主な内容》
- 新型コロナウイルス感染など要件を満たした被用者に傷病手当金を給付

◎ 5月第2回臨時会補正予算の概要

議案第37号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)
 補正額 1,850 万円 累計予算額 168億4,390.4万円

- 《主な事業》
- ひとり親家庭等福祉費 1,000 万円
 - 商工業振興対策費
 - 飛沫感染等防止設備整備助成金 600 万円
 - おやべ元気回復プロジェクト助成金 250 万円

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

5月第2回臨時会の審議経過

15日 議会運営委員会
 全員協議会
 議会運営委員会
 本会議(提案理由説明・質疑・討論・表決)

5月臨時会の審議経過

1日 全員協議会
 議会運営委員会
 本会議(提案理由説明・質疑・討論・表決)

5月臨時会・5月第2回臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

| | 議案番号 | 区 分 (主な内容) | 議決結果 | 林 | 竹 | 出 | 谷 | 山 | 加 | 義 | 吉 | 藤 | 白 | 福 | 中 | 石 | 嶋 | 沼 | 砂 | |
|-----------------|--------|--|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 登 | 松 | 合 | 口 | 室 | 藤 | 浦 | 田 | 井 | 島 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 | 田 |
| 補正予算 | 議案第33号 | 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第34号 | 令和2年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5月臨時会 条例の改正 | 議案第35号 | 小矢部市国民健康保険条例の一部改正について ・一定の要件を満たした被保険者に対する傷病手当金の支給に関する特例を定めるもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第36号 | 小矢部市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について ・「富山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例」の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決承認 | 承認第1号 | 小矢部市税条例等の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。(令和2年4月1日施行) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 承認第2号 | 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法施行令の改正に伴い、関係部分について所要の改正を行ったもの。(令和2年4月1日施行) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第2回 補正 予算 | 議案第37号 | 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第2号) (補正予算の概要については、上記を参照ください。) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

6月定例会

6月12日から25日までの14日間を会期として6月定例会を開催しました。

6月定例会では、令和2年度小矢部市一般会計補正予算、条例の一部改正、小矢部市固定資産評価員等の選任同意、小矢部市農業委員会委員の任命同意についてなど議案30件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

その他、法令等に基づく報告事項が2件ありました。

◎ 6月補正予算の概要

議案第38号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）
補正額 1億7,263.3万円 累計予算額 170億1,653.7万円

《主な事業》

- 情報教育環境整備事業費（国庫補助金を活用） 1億5,660.8万円
GIGAスクール構想に基づくタブレット端末整備費等
- コミュニティづくり推進費 2,000万円
（自治総合センターコミュニティ助成金を活用）
自治会の公民館、備品等の整備に対する助成
- 戸籍住民基本台帳事務費（国庫補助金を活用） 1,167.8万円
戸籍情報システム改修費、個人番号カード端末の増設
- 民間保育施設運営費（国庫補助金を活用） 981.8万円
石動西部こども園の空調設備改修に対する助成

議案第45号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算（第4号）
補正額 4,677万円 累計予算額 170億6,330.7万円

《主な事業》

- ひとり親家庭等福祉費（国庫補助金を活用） 1,690万円
ひとり親世帯臨時特別給付金
- 小学校及び中学校管理運営費（国庫補助金を活用） 1,513.7万円
特別教室への大型冷風扇設置、非接触型体温計の購入等
- クロスランドおやべ管理運営費（国庫補助金を活用） 1,041万円
空調設備の改修、消毒液・非接触型体温計の購入等

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

永年勤続議員表彰

全国並びに北信越市議会議長会定期総会において、次の方が議員表彰を受けられました。

また、小矢部市議会議員表彰内規に基づき、本定例会で次の方を表彰しました。

◎ 議員在職10年以上表彰

中田 正樹 議員



人事案件

◎ 小矢部市固定資産評価員の選任同意

古川 正樹 氏（植生）

◎ 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意

石畠 益郎 氏（興法寺）

◎ 小矢部市農業委員会委員の任命同意

高田 太衛 氏（矢波）

加賀谷 良雄 氏（蓮沼）

多田 博次 氏（波江）

田悟 敏子 氏（島中町）

宇川 傳治 氏（胡麻島）

日光 善治 氏（芹川）

宮西 勝昇 氏（五社）

渋谷 忠司 氏（桜町）

唐島 隆夫 氏（浅地）

三輪 和雄 氏（蓑輪）

吉江 秀一 氏（下中）

沼田 重樹 氏（和沢）

中村 真一 氏（津沢一丁目）

前田 善秋 氏（矢水町）

磯口 修一 氏（道坪野）

谷口 信一 氏（松永）

坂田 三郎 氏（蓑輪）

西尾 和 氏（安養寺）

木村 鉄雄 氏（荒間）

石丸 正明 氏（東福町）

6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

| 予補 算正 | 議案第38号 | 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第3号) (補正予算の概要は3ページを参照ください) | 議決結果 | 区 分 (主な内容) | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------------------|---|------|---------------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| | | | | 林登 | 竹松豊一 | 出合和仁 | 谷口巧 | 山室秀隆 | 加藤幸雄 | 義浦英昭 | 吉田康弘 | 藤本雅明 | 白井中 | 福島正力 | 中田正樹 | 石田義弘 | 嶋田幸恵 | 沼田信良 |
| | | | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例の改正 | 議案第39号 | 小矢部市督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正について ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第40号 | 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第41号 | 小矢部市税条例の一部改正について ・地方税法が改正されたことに伴い、関係部分について所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第42号 | 小矢部市地域再生法に基づく地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について ・地方再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第43号 | 小矢部市手数料条例の一部改正について ・デジタル手続法において、番号利用法が改正され、個人番号の「通知カード」が廃止されたことに伴い、所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第44号 | 小矢部市重度心身障害者等医療費助成条例の一部改正について ・「富山県重度心身障害者等医療費助成事業補助金交付要綱」の改正に伴い、所要の改正を行うもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 予補 算正 | 議案第45号 | 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第4号) (補正予算の概要は3ページを参照ください。) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 人事案件 | 同意第2号 | 小矢部市固定資産評価員の選任同意について | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 同意第3号 | 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 同意第4号 ～ 同意第23号 | 小矢部市農業委員会委員の任命同意について (人事案件の概要は3ページを参照ください。) | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議長は表決に加わりません | | | | | | | | | | | | | | | | | |

6月定例会で報告された事項

| | | |
|----|-------|-------------------------------|
| 報告 | 報告第1号 | 令和元年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告について |
| | 報告第2号 | 令和元年度小矢部市水道事業会計予算繰越計算書の報告について |

6月定例会の
審議経過

(会期14日間)

12日 本会議(提案理由説明)

15日 全員協議会

16日 議案調査日

17日 議案調査日

18日 議会運営委員会

19日 本会議(代表・一般質問)

22日 人口対策特別委員会

23日 民生文教常任委員会

24日 総務産業建設常任委員会

25日 議案調査日

議会運営委員会

本会議(提案理由説明)

全員協議会

民生文教常任委員会

総務産業建設常任委員会

委員長会議

議会運営委員会

本会議(質疑・討論・表決他)

7月臨時会

新型コロナウイルス感染症緊急対策を講じるため、7月22日に7月臨時会を開催しました。

7月臨時会では、令和2年度小矢部市一般会計補正予算についての議案が提出され、原案のとおり可決しました。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、オンライン教育、テレワーク等の「新しい生活様式」に必要な情報通信基盤の整備として、市内全域のケーブルテレビ回線の光ファイバ化を行うケーブルテレビ光ファイバ整備事業費などが予算化されました。

◎ 7月臨時会補正予算の概要

議案第46号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第5号)
 補正額 8億3,600.2万円 累計予算額 178億9,930.9万円

《主な事業》

- ケーブルテレビ光ファイバ化整備事業費
 (国庫補助金、県補助金を活用) 7億6,340 万円
 ケーブルテレビ回線の光ファイバ化
- 商工業振興対策費(国庫補助金を活用) 2,650 万円
 市内での消費喚起を目的としたプレミアム付商品券発行事業を支援
- 児童福祉施設等における感染防止対策(県補助金を活用) 1,950 万円
 感染防止対策消耗品や備品の購入
- 指定管理施設支援事業費 525 万円
 指定管理施設運営事業者に対する休業協力金、再開支援金の交付
- 観光推進費(国庫補助金を活用) 500 万円
 市内宿泊施設の半額割引券の発行等
- 図書館管理運営費(国庫補助金を活用) 319.7万円
 座席間の飛沫感染防止用パネルや図書消毒器の設置等
- 感染予防物資支援事業費(国庫補助金を活用) 277.2万円
 緊急事態時の物資支援を目的とした感染防護服セット等の備蓄

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

7月臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

| 区 分 (主要内容) | 議決結果 | 林 | 竹 | 出 | 谷 | 山 | 加 | 義 | 吉 | 藤 | 白 | 福 | 中 | 石 | 嶋 | 沼 | 砂 |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 登 | 松 | 合 | 口 | 室 | 藤 | 浦 | 田 | 本 | 井 | 島 | 田 | 田 | 幸 | 田 | 喜 |
| 補正予算 議案第46号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第5号) (補正予算の概要については、上記を参照ください。) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

令和2年度 議長交際費支出内訳表

令和2年4月～令和2年6月(単位:円)

| 区 分 | 件数 | 金 額 |
|-----------|----|-----------|
| 1 慶弔・見舞費 | 3 | 21,000 |
| ① 御祝・寸志 | 0 | |
| ② 激 励 金 | 2 | 11,000 |
| ③ 見舞・香典 | 1 | 10,000 |
| 2 協 賛 費 | 0 | |
| 3 会費・懇談会費 | 0 | |
| 4 そ の 他 | 3 | 8,240 |
| 合 計 | 6 | 29,240 |
| 令和2年度予算額 | | 1,200,000 |
| 執 行 率 | | 2.44% |

※小矢部市議会のホームページからでもご覧になれます。



22日 全員協議会
 議会運営委員会
 本会議(提案理由説明・
 質疑・討論表決)

7月臨時会の 審議経過



会派「誠流」

吉田 康弘 議員



▶動画配信中

【質問】 市長は新型コロナウイルス感染症対策本部長として、陣頭指揮に当たってきたわけだが、これまでの取り組み、効果、残された課題を問う。

【市長】 本市においては、2月22日に小矢部市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、健康相談窓口の設置、市主催イベント等の中止や延期、小中学校の臨時休校措置、公共施設の休館などについて、これまで14回の対策本部会議を開催し、慎重に感染症対策の協議を重ねるとともに、市ホームページや市ケーブルテレビ等において、最新の情報を市民の皆様にお伝えしてきたところである。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により疲弊した市民生活や経済活動の活性化に向けた取り組みを、国・県の経済対策と呼応しながら緊急かつ積極的に、三つの施策を重点に掲げて実施してきた。一つ目は、子育て世代に対する支援、二つ目は、地域経済の力強い回復に対する支援、三つ目は、地域医療、福祉

に対する支援、これらの施策を迅速に実施してまいりたい。これからの取り組みについては、今後、再度感染が拡大する可能性もあることから、長期的な備えに加え、継続的な感染症対策の実践が極めて重要であると考えている。引き続き、事態の推移を注視しつつ、国や県などからの情報収集と連携強化に努め、市民の皆様への命と健康を守り、安心の確保のため、市と関係機関が一丸となって新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいりたい。

【質問】 新型コロナウイルス感染症による様々な被害や対策によって、現在進めている「小矢部市第7次総合計画」や「第2期おやベルネサンス総合戦略」に与える影響を問う。

【市長】 令和3年度以降において、税収の落ち込み等が懸念されており、今年度のサマーレビュー及び総合計画のローリングにおいて、令和3年度以降の税収等の一般財源を精査した上で、所要一般財源を正確に見積り、各

計画及び戦略に反映させる必要があると考えている。本市の健全財政を維持することが第一であることから、多額の一般財源を必要とする事業については見直しや先送りを判断する局面も有り得ると考えている。

【質問】 今回の補正予算に計上されている「GIGAスクール構想」を実現する上での課題と対策を問う。

【市長】 このたびの新型コロナウイルス感染症対策に伴う補正予算において「GIGAスクール構想」の前倒しが示されたことから、令和2年度中に市内小中学校の児童生徒全員を対象に一人一台のタブレット端末を整備することとし、今回の補正予算にその所要額を計上している。また、タブレット端末の使用に不可欠となる市内小中学校の校内通信ネットワーク整備工事を予定しているところである。具体的課題としては、児童生徒用タブレット端末のIPアドレスの不足、学校から直接クラウドサービスに接続するセキュ

リティを含めたネットワーク環境の切り替えが必要であり、また、全教職員のICT活用教育への対応力育成などが課題となっている。通信ネットワークに関する具体的な対応策については、現在、調査研究を急いでいるところであり、また、全教職員のICT活用教育への対応力育成については、本年度、市教育センターに市ICT調査研究委員会を設置し、小学1年生から中学3年生までの9年間を見通した体系的なICT活用策や、授業での具体的な活用方法についての研究を進め、その成果を教員に還元する一方、各学校の教職員には県主催のオンライン授業関連の研修を推奨しているところである。

- ◎新型コロナウイルス感染症対策について
- ◎第7次総合計画と第2期おやベルネサンス総合戦略について
- ◎今回の補正予算「GIGAスクール事業」前倒しについて

要一般財源を正確に見積り、各

計画及び戦略に反映させる必要があると考えている。本市の健全財政を維持することが第一であることから、多額の一般財源を必要とする事業については見直しや先送りを判断する局面も有り得ると考えている。

このたびの新型コロナウイルス感染症対策に伴う補正予算において「GIGAスクール構想」の前倒しが示されたことから、令和2年度中に市内小中学校の児童生徒全員を対象に一人一台のタブレット端末を整備することとし、今回の補正予算にその所要額を計上している。また、タブレット端末の使用に不可欠となる市内小中学校の校内通信ネットワーク整備工事を予定しているところである。具体的課題としては、児童生徒用タブレット端末のIPアドレスの不足、学校から直接クラウドサービスに接続するセキュ



継続的な感染症対策が重要です。

◎学校教育における遠隔学習等について
 ◎新型コロナウイルスの影響について
 ◎通学路点検と対策状況について



会派「市民報徳会」
 中田 正樹 議員



▶動画配信中

質問 遠隔学習のための通信端末の台数確保は可能か。周辺機器の整備を含め、今後のスケジュールを問う。

市長 機器の整備については、年度内を別途としている。IPアドレス追加設定やクラウドサービスに接続するセキュリティを含めたネットワーク環境の整備などは、現在、調査検討を行っているところである。また、スケジュールについては、校内通信ネットワーク工事設計業務が7月中旬に完了予定であり、その後、速やかに当該工事の発注を行い、12月末までの完成を目指す。児童生徒へのタブレット端末については、県学習者用端末共同調達入札により納入し、その後、端末の設定作業等を行い、遅くとも3月末には各学校に配置したいと考えている。

質問 各家庭の通信環境の実態調査及び環境整備が必要である。光ファイバーの整備を含め、今後の計画について問う。

市長 各家庭の通信環境の実態把握のために、6月2日付で、

学校を通じて各家庭へアンケート調査を実施した。インターネット通信環境を整えられないご家庭には、モバイルルーターの貸出しを考えている。新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波の懸念がある中、学びの保障のため、新しい学校ネットワーク環境の実現に向け、速やかに整備できるよう努めていく。光ファイバーの整備については、国の補正予算による光ファイバー未整備地区に対する補助事業である高度無線環境整備事業への公募申請について検討する必要があると考えている。また、県においても、ケーブルテレビの光回線化に対する支援制度が6月定例会に上程されていることから、最適な整備手法を検討しているところである。いずれにしても、今回の国及び県の支援制度は、光ファイバー化を重要課題の一つとしている本市にとって、またとない機会であり、しっかりと前向きに検討していく。

質問 新型コロナウイルス感染

が広がる中、インフルエンザ流行への備えがより重要である。ワクチン接種を呼びかけるのはもちろん、子どものワクチン接種の補助額を昨年度の金額に戻すことも検討すべき。

市長 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業については、現時点では補助額の見直しは困難であるが、今後の状況を見極めるとともに、多くの子どもたちに事業が活用され、予防接種が行われるよう努めていく。

質問 様々な学校行事が中止を余儀なくされている。何らかの形で、思い出、記憶に残る活動はできないか。

市長 現在の学び舎での最後の年となる小学6年生、中学3年生の皆さんにとっては、何らかの形で思い出として記憶に残る行事の実施も必要であると考えている。小中学校長会において、

各学校の実情に合わせ、児童生徒と教職員の思いを尊重し、工夫された取り組みがなされるよう検討をお願いしたところである。中学校の運動会については、規模を縮小して、9月下旬から10月上旬の平日に開催を予定している。

質問 通学路の危険箇所はたくさんある。早急に、できる対策は講じるべき。

市長 信号機設置の要望があった箇所は、近くの交差点との距離が近すぎるため、設置はできないとのことであった。各小学校から要望のあった危険箇所については、市通学路安全推進協議会開催に合わせ現地確認などを行っている。今後とも通学路の安全対策に、なお一層取り組んでいきたい。



児童生徒に1人1台の端末を整備する予定です。



白井 中 議員



▶動画配信中

質問 コロナ問題も、見方によっては地方再生を進めるチャンスである。オンライン活用推進窓口で移住関連の相談や説明会を強化する考えはあるか。

企画政策部長

今回のコロナ禍により、地方創生の重要性が改めて認識されたところである。オンラインを活用した移住相談や説明会については、大変有効な施策であると考えており、今後の新たな生活様式に向けて調査・研究していきたい。

質問 新型コロナウイルスにより、特に影響を受けた飲食店、ホテルなどへの支援についての考えは。

産業建設部長

飲食店への支援については、プレミアム付飲食券事業を実施しているところである。また、ホテルなど宿泊業に対する支援については、今後、国及び県の施策の動向や効果を見極めながら、関係団体と協議してまいりたい。

質問 新型コロナウイルス対策において、特に重症化しやすい高齢者等への対策・支援に

ついて問う。

民生部長

重症化しやすい方々への対策としては、感染防止の三つの基本に加え、疾病の治療を含めた厳重な体調管理をすることなどの感染予防対策が必須であり、新しい生活様式を含め、さらなる啓発に努めてまいりたい。

質問 クロスランドタワーのライトアップについて、ほかの地域では、医療従事者への感謝の気持ちを表す点灯などの工夫をしているが、当局の考えを問う。

教養委員会事務局長

クロスランドタワーでも6月1日から1週間、医療従事者の方々の感謝の気持ちを表すためにブルーライトの点灯を行った。ご苦労いただいている医療従事者の皆さんに対して、幾らかでも感謝の気持ちが表せたのではないかと感じている。



クロスランドタワー

- ◎コロナによる今後の学校教育について
- ◎LINEを使ったプレミアム付飲食券の販売実施について
- ◎移住施策について



竹松 豊一 議員



▶動画配信中

質問 コロナによる学習の遅れや不安を感じている児童生徒の対応について問う。

教育長

相談件数は、市内小中学校全体で、3月から5月で196件の相談があり、今後も児童生徒一人一人への目配りをしていきたい。

質問 猛暑に提供される学校給食の対策を問う。

教育長

給食センター調理室にスポットクーラーの増設、簡易給食を活用した対応を検討していく。

質問 オンライン授業学習に関しての見解を問う。

教育長

コロナ感染の第2波、第3波が懸念される中、オンライン授業が可能となる整備を進めていき、効果的なICT教育を受けられる体制にしていきたい。

質問 教員のパソコンに関して整備がまだまだ不十分であるが見解を問う。

教育長

校務用パソコンの多くはウインドウズ7で約2分の1のパソコンの更新を行う予定であり、今後も早期に更新をしていく。

質問 小矢部市プレミアム付飲食券を発行したが、他業種の実態の把握と利用拡充についての見解を問う。

産業建設部長

他業種からの要望などを把握し、国や県が実施する様々な施策の効果を見極めながら、有効な支援策を検討していく。

質問 LINEを使った今後の取り組みについて問う。

企画政策部長

調査・研究を行い、市民のサービス向上につながるよう前向きに検討していきたい。

質問 県外からの移住が多い理由として、石川県境であると考えるが、それらも含め、実績について問う。

企画政策部長

住宅取得助成では8割、賃貸住宅家賃助成では約7割の方が石川県からの移住者である。昨年度の定住促進助成事業全体の活用実績は、414件の申請があり、249人の方が転入されている。



LINEを使って販売されたプレミアム付飲食券

- ◎LINE公式アカウントの活用について
- ◎電子申請・キャッシュレス対応について
- ◎テレワークの導入について
- ◎移住定住の促進について

林 登 議員



▶動画配信中

質問 小矢部市全体のLINE公式アカウントを1つ作成してはどうか。

企画政策部長 市民のサービス向上につながるよう、前向きに検討していきたい。

質問 電子申請にどのように取り組む方針か問う。

総務部長 様々な分野において、各種申込みをオンラインで行える環境を整備し、一層の行政サービスの利便性の向上に努めたい。

質問 上下水道の利用開始の申請をスマホやパソコンから電子申請できるようにするべきだ。

産業建設部長 利用者の利便性の向上を図る上で有効な手法であり、今後、実施に向けて検討を進めたい。

質問 4月から市税がコンビニやスマホで納付ができるようになった。固定資産税や軽自動車税では、どれくらいの方がコンビニやスマホで納付されたか。

総務部長 新様式のバーコードつき納付書を送付したうち約40%の方が利用された。

質問 職員採用試験をウェブでの開催ができないか。

副市長 ウェブ化の併用ということは考えていない。

質問 各学校から校長先生が集まる校長会をウェブ会議にて実施してはどうか。

教育委員会事務局長 今後、学校長との意見交換やICT調査研究委員会での検討、また専門家等の意見も聞き、検討を進めたい。

質問 移住促進のための県外出張回数について問う。

企画政策部長 東京都で7回、大阪府で2回、計9回相談会等に参加した。

質問 その成果を問う。

企画政策部長 昨年度は25人の方の相談に応じた。

質問 ICTを活用した関係人口拡大に取り組みべき。

企画政策部長 様々な事例を参考にし、関係人口の拡大に向けた取り組みを着実に進めていきたい。



4月からコンビニやスマホで納付できるようになりました。

6月定例会一般質問

- ◎光ファイバー網の未整備地区の整備について
- ◎新型コロナウイルスの影響による財政の課題と対策について

加藤 幸雄 議員



▶動画配信中

質問 光ファイバー網の未整備地区の世帯数、企業法人数及び本市の光回線のカバー率について問う。

企画政策部長 本市の未整備地区は、市内局番69局内である東蟹谷地区と北蟹谷地区及び宮島地区の一部であるが、宮島地区の未整備世帯数は確認できないため、確認できる範囲では、808世帯事業所数は126社であり、本市の光回線のカバー率は、92.3%である。

質問 光ファイバー網未整備地区から、どのような要望が出されているか。

企画政策部長 これまで市内局番69局の地区内の企業から、国内外の事業拠点とのテレビ会議や大容量の映像データの送受信などに対応できる光ファイバー通信網整備の要望が出ている。また、市企業協会からは、「小矢部市内全域における光ファイバー網の完全整備について」の要望書が提出されている。

質問 国では第五世代(5G)への対応、県では未整備地区への整備費補助支援を打ち出している。市当局の今後の方針を問う。

企画政策部長 県の支援制度を活用したケーブルテレビによる光ファイバー網の整備及び国の光ファイバー未整備地区に対する補助事業について、前向きに検討したい。

質問 新型コロナウイルス感染症の影響による本市の財政状況や令和3年度の予算について問う。

総務部長 財政指標については、3月の試算と大きく変わりはないが、新型コロナウイルスや自然災害など変動要素はある。令和3年度予算については、地方税などの大幅な減収が想定されており、一般財源総額の充実確保について、国や県に重点要望を行いつつ、持続可能な健全な財政運営の維持を念頭に進めてまいりたい。



国は第5世代移動通信システム(5G)の実現を目指しています。

◎全ての災害に対応できる街づくりについて



嶋田 幸恵 議員



▶動画配信中

質問 高齢者などの弱者のことを考えた備蓄が必要だと思うが、対応を問う。

総務部長 本年5月に県が作成した新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアルに基づき、新型コロナウイルス感染症に有効と考えられる物品や資材等を備蓄する予定である。また、災害弱者に対する備蓄品の戸別配送についても検討が必要と考える。

質問 障害をお持ちの方はさらに大変な生活だったと思う。ステージ1での新生活様式の中の支援体制について伺う。

民生部長 社会福祉施設等は、社会生活維持のため必要な施設であることから、休業要請の対象外となり、非常事態宣言中も適切な感染予防策を講じた上で、サービス提供が行われ、障害のある人が非常事態宣言前と変わらず、安全に生活できるように配慮がなされたところである。

質問 いずみの園の事業について、寿永荘解体により

移行する場所は決まったか。**市長** 施設の老朽化等の問題から、新たな会場確保が喫緊の課題であるが、現時点では、事業者と協議を重ねているところである。市としても、非常に重要な介護予防事業提供事業所であると認識しており、できる限り早い時期に方針を示したい。

質問 市民力を上げるためにも、市民の声を聴いてほしいと思うが、どうか。

企画政策部長 感染症が終息したアフターコロナでは、今後、本市がどう進むべきか、市民の意見を広く聞き取り、施策を講じる段階であると考えている。これまで継続して実施してきた市民満足度調査やタウンミーティングはもとより、できる限り幅広い年代、立場、職種の方からの意見をいただく機会を設けるよう、工夫してまいりたい。



応運が 対所品 避難が 備蓄が 必要です。 感染、 被災、 必要

- ◎特別定額給付金事業について
- ◎防災対策について
- ◎空き家対策について
- ◎母子保健の推進について
- ◎小学校及び中学校の運営管理について



ふじもと 雅明 議員



▶動画配信中

質問 小矢部市の避難所開設の実績は。その際の課題について、どのように改善したか問う。

総務部長 避難所開設の実績は、平成30年の台風21号、24号の際、それぞれ1か所の自主避難所を開設し、避難者が合計16人、昨年の台風19号の際には、3か所の避難所を開設し、合計で13人が避難した。昨年の避難所開設の際には、避難される方々への災害情報の伝達手段の不足、誘導方法等について課題があった。本年度の市総合防災訓練の中で避難所の開設訓練を実施し、結果を検証して、実態に即した避難所運営に努めていきたい。

質問 市の避難所は何名で開設するのか。先進自治体では、避難ボックス、避難所開設アクションカードを作成し、避難所開設・運営をスムーズに進めている。本市でも取り組めないか。

総務部長 避難所1か所当たり2名の市職員を配置している。避難所の運営は、住民による自主運営を原則としている。提案の避難所の開設手順を一枚にまとめ、アクションカードの作成により、市職員、住民が迅速かつ的確に避難所を開設できると考えることから、十分に検討していきたい。

質問 コロナウイルス流行下において、妊産婦は心身ともに大きな不安を抱えているため、安心して相談できる体制を整備する必要がありますと思うが対策を問う。

民生部長 新型コロナウイルス感染症流行下における妊産婦への寄り添った支援の実施を目的として、通信設備の整備によるオンラインによる保健指導事業の実施を検討している。この事業の実施により、「オンラインによる「ママ・パパ講座」や保健指導が可能となり、妊産婦の不安や悩みの軽減につながるかと考えている。



妊産婦に寄り添った支援が必要です。

◎アフターコロナを見据えた災害への対応と対策
◎学びの確保と学習方法に係るICT化



出合 和仁 議員



▶動画配信中

質問 コロナ禍、アフターコロナを見据えた避難所設営について問う。

総務部長 県では、本年、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル策定指針を作成した。県の指針に基づき、市策定の避難所運営マニュアルについても、本市の実態に即して、必要な見直しを図り、今後の訓練の実践も踏まえ、十分に検証してまいりたい。

質問 避難所設営の注意点について問う。

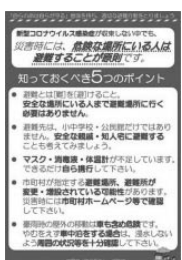
総務部長 大きな課題は、3密を回避するため、収容人数が大きく変わることであり、1人当たり2.5平方メートルから4平方メートル程度必要となる。感染が疑われる避難者や職員等については、個室等に隔離し、厚生センターの指示を仰ぐ。また、簡易体温計や運営スタッフ等の感染防止対策消耗品の整備も考えている。
質問 各地区での防災訓練など、市のマニュアルに基づいた訓練が必要であるが、

その周知徹底方法を問う。

総務部長 市報、市ケーブルテレビ、SNS等で周知に努めるとともに、自主防災会、防災士会等を通じ、市民に広く周知し、意見交換も行っていくたい。また、地域独自で作成する防災計画についても推奨している。

質問 人と人が直接会話や体験を通して学習することが最も大切と考えるが、そのこととICT化とのバランスをどう考えているか。

教育長 先生と生徒、子供達同士が学びを深めることが基本であるが、ICT化はそれを補完し、子供の学びの広がりを持たせるものと考えている。ICT調査研究委員会を設置し、教員の資質向上と実習、情報活用型授業の調査研究を行っているきたい。また、民間のICTアドバイザーの活用については検討中である。



コロナ禍における避難について知っておくべきポイント

6月定例会一般質問

◎コロナウイルスの影響について
◎今年の田植の状況について
◎こども園の運営状況について



石田 義弘 議員



▶動画配信中

質問 地元小中高校生にスポーツの機会を提供するためにも、市独自の大会の開催及びトップチームの合宿の誘致をして欲しい。

教育長 市独自の大会の開催については、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた大会運営が求められ、関係団体との綿密な協議に加え、今後の感染動向への配慮など、慎重な対応が必要であり、現時点での開催は難しいと考えている。合宿の誘致についても、感染防止対策の徹底に加え、トップチームが合宿できる環境整備の在り方についての協議が必要であり、今後、検討してまいりたい。

質問 新たなこども園の運営状況について、開園して2か月余り経ったが、支障が生じていないか。備品の整備、送迎時の交通対策は十分に対応されているか。

民生部長 備品整備については、新規に調達した備品と統合前の保育所の備品の再利用により、環境を整えてきており、支障は生じていないと考えている。また、送迎時の交通対策については、場内誘導や駐車場内の案内表示の整備等により、事故や混雑などは発生していない。

質問 高密度播種苗、俗に言う密苗栽培は、通常移植に比べ箱枚数が3分の1程度減少する等、労力の軽減やコスト削減になると言われている。農業にも省力化・低コスト化が進んできている中、本市の2020年産米について、密苗、直播、通常移植の状況はどうか。

産業建設部長 昨年と比較する



4月に開園した大谷こども園、蟹谷こども園

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員
会審査の過程において、市当局に対し
次の意見がありました。

総務産業建設常任委員会

一点目は、新型コロナウイルス感染
症により、大きな影響を受けた市民生
活や地域経済に対する国・県の支援策
について、しっかりと情報収集を行い、
積極的な情報提供に努めること。また、
依然として厳しい状況下にある市民や
事業者等に対して、市独自でさらなる
支援策を講じるなど、経済対策の強化
を図ること。

二点目は、今年度の防災訓練につい
て、新型コロナウイルス感染症に対応
する訓練を実施するとともに、その結
果を検証し、実態に即した避難所運営
マニュアルとなるよう見直しを図るこ
と。

民生文教常任委員会

一点目は、子ども達の感染症等対策
について、今年度は新型コロナウイルス
感染症及びインフルエンザの同時流行
が想定されるため、インフルエンザ予
防接種費用助成制度を早期から保護者
に広く周知し、接種率の向上に努める
こと。

公共施設再編特別委員会
(中間報告)

一点目は、ICT活用教育について、
新型コロナウイルス感染症拡大の第二波、
第三波の到来が懸念されており、小中
学校においてはオンライン授業の導入
が求められている。
小矢部市はICT調査研究委員会を
設置し、ICT活用教育の効果的な実
施方法に関する協議を行うが、ICT
活用教育アドバイザーやICT支援員
との連携を図り、オンライン授業の実
施体制を早急に整えること。

一点目は、公共施設再編による廃止
施設の処分計画については、すでに一
部において一般公募が始まっており、
対象となる用途の廃止時期も決まって
いることから、譲渡予定の土地や建物
における必要な準備や手続きを、引き
続きスピード感をもって対処すること。
二点目は、クロスランドおやべ及び
周辺施設における再編、整備について
は、総合福祉センターとおとぎの館に
ついての利活用等、部局を横断する協
議を重ねながら適正計画配置案を策定
し、市民のニーズや使いやすさを十分
考慮した施設となるよう検討すること。
三点目は、公共施設の長寿命化計画
については、老朽化の状況と利用状況
を的確に把握し、新型コロナウイルス
による新しい生活様式が求められる今、
避難所配置計画の変更など災害に対応
する計画変更も視野に入れたものとな
るよう検討すること。



砂田 喜昭 議員



動画配信中

- ◎新型コロナウイルス感染症対策について
- ◎子どものためのインフルエンザ予防接種助成と就学援助の復活を
- ◎小中学校で20人学級へ
- ◎医療・介護の現場で、マスク、防護服、手袋、消毒液などは足りているのか、実態はどうか

のか。

教育委員会事務局長 先進自治体

の認定基準などを早急に調
べて、学校を通じて保護者
に知らせたい。

質問 新型コロナウイルスの第2波、
3波が懸念されるも、小
中学校統廃合の検討は凍結
すべきである。今は、分散
登校など3密を避ける取り
組みをしているが、これか
らは20人学級を目指すべき
ではないか。20人学級にす
るためには、教員をどれだ
け増やす必要があるか。

教育長 概算ではあるが、
60人近く必要と試算してい
る。

質問 修学旅行中止で、被
爆地を訪問する平和教育が
できなくなった。それに代
えて、原爆写真展を各学校
に巡回させてはどうか。

市長 ご提案いただいた原
爆写真展の巡回、そして平
和教育の実施を小中学校長
会で、私から提案したい。



子どものインフル
エンザ予防接種を
推進しています。

質問 新型コロナ対策では、
従来の新自由主義で効率一
辺倒のやり方を改めること
が求められる。自粛には固
定費の支援が必要である。
家賃支援をできないか。
産業建設部長 国は、売り上げ
が落ち込んだ事業者に家賃
支援策として、中小企業に
は最大月額100万円、個人事
業主には月額50万円を6か
月間給付する。この制度の
活用を周知したい。
質問 新型コロナの第2波、
第3波に備えるためにもイ
ンフルエンザ予防接種が重
要で、補助金を1回2千円
に復活することを求める。
民生部長 インフルエンザ
予防接種は有効な措置と考
えている。今現在は見直し
を考えていないが、接種率
を上げるところを見守り、
新型コロナの状況を見なが
ら、この制度について考え
ていきたい。
質問 就学援助の申請締切
後でもコロナの影響などで
家計が急変した場合、国は
就学援助の対象に加えると
しているが、市はどうする

人口対策特別委員会 (中間報告)

一点目は、第二期おやベルネサンス総合戦略についてであります。施策ごとに設定されたKPIの数値が達成されるように、戦略的に各事業の推進を行うこと。若者や女性が本市で安心して働き暮らし続けられるように、雇用環境の整備や結婚支援、子育て支援に引き続き取り組むこと。誰もが安心して生活ができるよう、防災体制や公共交通の充実を図ることで、将来像「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現を目指し鋭意取り組むこと。

二点目は、小矢部市シティプロモーション戦略プランについてであります。本市の魅力のさらなる向上に取り組むながら、本市の知名度向上のためにイメージの明確化と情報発信に努めること。子どもたちを含めた市民が本市の魅力や価値に気付き、「愛着」や「誇り」の意識を醸成できるように、学べる機会や場所の提供に取り組むこと。ホームページやSNSを活用することで、戦略的な情報発信と本市の魅力の拡散や共有を目的とした効果的で戦略的なコミュニケーションの仕組みを構築すること。

三点目は、新聞報道にあったように、人口当たりの移住者数が県内他市に比べ、大きな成果を得ていることから、本市の定住促進施策については有効性が高く、今後は制度に改善を加えながら、引き続き力強く取り組むこと。

閉会中委員会開催状況

総務産業建設常任委員会

5月18日開催

※所管事項について、委員から意見がありました。

意見 飛沫感染防止設備の整備と併せて、事業者に新型コロナウイルス感染症について、正しく理解をして対応していくための感染症に対する研修会を受けて欲しい。

回答 市内事業者向けに感染症に対する研修会を開催することは、今後の感染症拡大を防止する上で大変有効であると考えている。今回補正予算で提案した「おやべ元気回復プロジェクト助成金」を活用した取り組みとして実施すればどうかと考えている。スピード感を持って取り組んでいきたい。



飲食提供施設を対象とした「新型コロナウイルス感染症対策研修会」が開催され、受講者に修了証と卓上POPが交付されました。

意見 今回の補正は、主に感染防止に伴う補助金で、売り上げの減少や観光業・商工業の新たな発展への対策ではない。そういったことにしても、市としてできることをして欲しい。

回答 国では、家賃助成という新たな制度を検討中ということで、国・県の助成状況をしつかりと把握し、事業者に届くように対応していきたい。

民生文教常任委員会

5月8日開催

※所管事項について、委員から意見がありました。

意見 市内の介護施設で医療物資が不足していると聞いた。必要に応じて市からの支援をお願いしたい。

回答 どの施設においても、感染予防対策に係る医療物資の在庫は十分とはいえない状況にあるが、業務に支障を来たさないよう努めていただいている。施設内で感染者が出た場合は、防護服の整備、施設内の消毒や専門家による衛生指導も必要となる。状況に応じて、市新型コロナウイルス感染症対策本部で協議したい。

意見 学校施設の修繕について、例年は夏休み期間などに実施しているが、今回の臨時休校期間中に小規模な修繕などを行うのはどうか。

回答 小中学校の営繕工事については、臨時休校期間内での工事完了が見込まれる業務及び工事を選定し、施工業者に依頼したところである。

録画映像配信のお知らせ

小矢部市議会のホームページでは、より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、本会議の録画映像を配信しています。

小矢部市議会のホームページの「議会展中継（本会議録画映像インターネット配信）」をクリックしてご覧ください。



小矢部市議会 YouTube ページ

■ 会務報告

令和2年3月20日から令和2年6月11日まで

| 年月日 | 件名 | 摘要 | 開催地 |
|---------|-------------|--|--------|
| 2. 3.26 | 議会だより編集委員会 | ・第197号発刊について | 第二委員会室 |
| 4.21 | 議会だより編集委員会 | ・第197号発刊について | 第二委員会室 |
| 4.28 | 議会運営委員会 | ・令和2年5月臨時会提出議案等について | 第二委員会室 |
| 5. 1 | 全員協議会 | ・令和2年5月臨時会提出議案について | 第一委員会室 |
| | 議会運営委員会 | ・令和2年5月臨時会議案第33号から議案第36号まで並びに承認第1号及び承認第2号の発言通告及び採決方法について審議 | 第二委員会室 |
| | 本会議 | ・令和2年5月臨時会議案第33号から議案第36号まで並びに承認第1号及び承認第2号について議決 | 議場 |
| 5. 8 | 民生文教常任委員会 | ・地域外来・検査センターの設置について報告 | 第一委員会室 |
| 5.15 | 議会運営委員会 | ・令和2年5月第2回臨時会提出議案等について | 第二委員会室 |
| | 全員協議会 | ・令和2年5月第2回臨時会提出議案について ・小中学校の分散登校の実施について報告 | 第一委員会室 |
| | 議会運営委員会 | ・令和2年5月第2回臨時会議案第37号の発言通告及び採決方法について審議 | 第二委員会室 |
| | 本会議 | ・令和2年5月第2回臨時会議案第37号について議決 | 議場 |
| 5.18 | 総務産業建設常任委員会 | ・令和3年度採用職員の募集について報告 | 第一委員会室 |
| 6. 4 | 議会運営委員会 | ・令和2年6月定例会提出議案等について | 第二委員会室 |

9月定例会の日程(予定)

- 2日(水)10時 本会議
- 4日(金)10時 本会議(提案理由説明)
- 7日(月) 議案調査日
- 8日(火) 議案調査日
- 9日(水) 議案調査日
- 10日(木)9時 議会運営委員会
- 10日(木)10時 本会議(代表・一般質問)
- 14日(月)10時 人口対策特別委員会
- 14日(月)10時 民生文教常任委員会
- 15日(火)10時 公共施設再編特別委員会
- 14時 総務産業建設常任委員会
- 16日(水)10時 決算特別委員会
- 17日(木) 議案調査日
- 18日(金)10時 議会運営委員会
- 13時 全員協議会
- 15時 本会議(質疑・討論・表決)

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。
詳細については、市議会のHPをご覧ください。

※緑色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

編集後記

各地ですごい雨が続いています。水は恵みをもたらしますが、時には氾濫し、白い牙をむきます。長時間にわたり大量の雨をもたらす線状降水帯が発生し、被害を大きくします。このところの高温に伴い、近海から水蒸気が上空にたまり、次々と積乱雲ができ、大量の雨が降り続きました。大雨・豪雨・沛雨・甚雨とさえ表されます。

今年、さらなる厄災が加わります。コロナ禍で避難所の様相も一変しました。「3密」対策でマスク・消毒液・手洗い、一定の社会的距離が問われます。苦しい時こそ相互扶助が必要になります。命と暮らしを守るためにも市議会としても市当局と一丸となって知恵を絞り、減災対策を進めなければならぬと思います。

(議会だより編集委員 義浦記)
次回の「議会だより」は、令和2年11月の予定です。

